本学会と交流のある海外学会の
定期研究集会派遣報告

大韓放射線科学会
(Korean Society of Radiological Science: KSRS)
2017年春季学術大会

開催場所：ソウル特別市，韓国
開催期間：2017年5月12～14日

KSRS 2017に参加して

派遣員　高津安男　大阪赤十字病院

日本放射線技術学会(JSRT)国際交流のイベントの一環としてKorean Society of Radiological Science Conferenceに参加した．場所はShingu Collegeで，ソウル市内から車で1時間以上離れた場所にある，大きな大学であった．

学会の構成はSeminar, Symposium, そしてSession IからVとなっており，私の発表“The Effectiveness of Extended Scan Timing for the Hepatobiliary Phase in Liver MRI”はSession Iに含まれていた．演題数はSessionあたり8から11であった．

この学会にはフィリピンからも参加されており，KSRSにおいても国際化へ積極的であることが感じられた．それはKSRS会長の挨拶の中にも含まれており，今後，日本，フィリピンと関係を築いて提携していきたいと述べられ，非常に熱意や意気込みが感じられた．恐らくJSRTとしても同様であると思われ，更に国際交流のイベントが増えることを期待する．

フィリピンからの代表であるOlavidez氏と会話できる機会があり，現在の診療放射線技師の「職」についての話ができた．フィリピンの免許があれば，国外でも仕事ができる国はあるらしいが，日本は同様ではない．どこまで需要があるかも問題であるが，日本の診療放射線技師が，将来的に海外で活躍できる機会が持てることを期待したい．他国籍の人が日本の学校で学び，日本の診療放射線技師免許を取得し，日本国内で業務についているケースもあり，海外で「職」を得る方法はあるかもしれない．これは非常に興味深い話題であり，今後の動向を見守りたい．また，国際化に寄与する一端となるかもしれない．

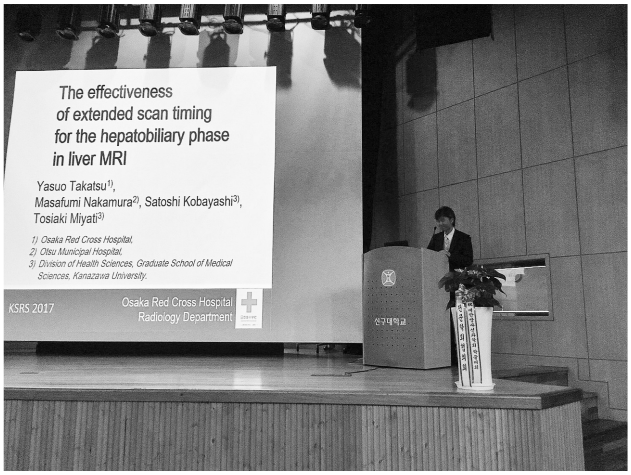

Photo　発表中の筆者

韓国での検査における最適化の問題も拝聴した．今後の改善に関して，日本側が協力できることがあるならすべきでは，と思った．お互いの学会などに参加し，自己研鑽や協力を積み重ねていくことは，将来に向けて大きな意義を感じる．自分自身，何らかの関わりを持っていければと考える．

韓国では毎年多くのradiological technologistが誕生しており，お互いの技術交流を兼ねて，今後の関係が続くことを願いたい．

KSRS に参加して

派遣員　小林　誠　広島大学病院

はじめに

2017 年 5 月 12〜14 日にかけて韓国の新丘大学で大韓放射線科学会学術大会 2017（KSRS 2017）が開催された．

私は，日本放射線技術学会の海外派遣企画に応募し，KSRS 2017 に参加，英語による口述発表をさせていただく機会を得た．以下に KSRS 2017 の概要と今回の参加においての所感を報告する．

KSRS に参加して

私にとって今回の KSRS 2017 は初めての海外学会参加となった．更に，英語のスライド作成，英語での口述発表と初めて経験することばかりであった．学会参加前に最も不安だったことは，発表時間や発表形式，どのセッションで発表を行うかなど事前に一切情報がなかったことである．慣れない英語での発表と全く情報のない学会への参加が私の不安をより大きくした．

KSRS 2017 は日本だけでなくフィリピンからも招待され学会に参加していた．演題数は 47 演題あり活発な質疑応答が行われていた．しかし，発表の多くは韓国語で行われていたため，わからない演題もあった．

私の発表内容は PET-CT についての研究で，CT の撮影方法を 4 種類（自由呼吸，通常呼気，自由呼吸+腹部圧迫，通常呼気+腹部圧迫），PET の収集方法を 2 種類（呼吸同期の有無）行い最も fusion 一致率の高い方法を検討した．通常呼気+腹部圧迫と呼吸同期の組み合わせが最も優れているという結果になった．発表時間は 8 分程度（厳密に決められているわけではない）で，一つのセッション（10 名程度）ごとに立て続けに発表を行う．その後，発表者が壇上に上がりまとめて質疑応答を行うという方式であった．練習を十分重ねて挑んだため，詰まらずに発表することができたが，発表することに集中し過ぎてしまい，会場の反応を確認する余裕はなく終わった．

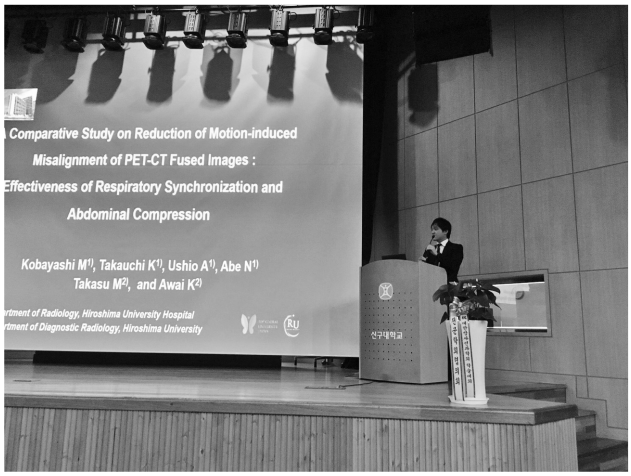

Photo　発表する筆者

初めての海外発表の経験は，私にとって忘れることのない大変貴重な経験となった．今回の経験をふまえ，今後は語学力の向上に励み，他の国際学会にも積極的に参加したいと考えている．この報告が，海外での発表を考えている人に少しでも興味を持っていただけるきっかけになれば幸いである．

謝　辞

最後に，今回の KSRS 2017 の参加にあたり，国際研究集会派遣会員として助成いただきました小倉明夫代表理事ならびに本学会関係者各位に深く感謝を申し上げます．また，本研究を行うにあたり，ご指導とご鞭撻を賜りました広島大学病院放射線部の皆様に心から感謝申し上げます．

KSRS 2017 に参加して

派遣員　日置一成　広島大学病院

はじめに

2017 年 5 月 12 日から 14 日にかけて，大韓民国の新丘大学で開催された 2017 年度大韓放射線科学会（KSRS 2017）にて，「平成 29 年度本学会と交流のある海外学会の研究集会への派遣会員」として本学会より助成を受け，参加・発表する機会を頂いたので報告する．

研究発表の内容

発表内容は強度変調放射線治療（intensity modulated radiation therapy: IMRT）の治療計画に関する研

Photo　発表の様子

究であった．IMRT は副作用を増加させることなく，より高線量の放射線を腫瘍に集中して照射する治療法であるが，その治療計画は繰り返し計算により，患者ごとに最適な線量を与える条件を模索する作業が必要となるため，時間がかかるうえに計画の質が患者ごとに異なることが問題とされている．本研究では，患者の解剖学的な位置情報を用いて，事前に物理的に実現できる線量分布を予測することによって IMRT の治療計画を効率的に作成するシステムを構築し，その有用性について報告を行った．

KSRS 2017 の感想

今大会は，“The Fusion of Advanced Radiological Science”をテーマとし，1 題の教育講演，4 題のシンポジウム，五つのセッションからなる約 47 演題の口頭発表という内容であった．発表の多くは韓国語で行われていたが，スライドの英語化や英語発表が推奨されており，日本だけではなくフィリピンの学会とも交流が行われていることからも，国際化が推進されていることが見受けられた．また，学会の前日には韓国の学会員と交流する機会を頂き，研究だけではなく，診療放射線技師の現状などについて情報交換を行うことができた．今大会を通して，国際交流の輪を広げることができたことは大変貴重な経験であり，国際化が求められる現代では，国際化を推進している海外の学会とともに成長することが重要であると感じた．

謝　辞

KSRS 2017 に参加する機会を与えて頂きました日本放射線技術学会の小倉明夫代表理事をはじめ国際戦略委員会の皆様，関係者の皆様に深く御礼申し上げます．また，学会参加に快諾頂いた広島大学病院のスタッフ一同に厚くお礼申し上げます．